

高学年児童一人一人が活躍する



教師用 たてわり活動ハンドブック

高学年児童の自己有用感を育む
児童主体の異年齢交流活動の工夫

友達や先生、下級生、家族など、たくさんの人から、自分の頑張ったことを「ほめられた・認められた・励まされた」という体験によって、子どもたちの「自己有用感」が育まれます。



異年齢交流活動（たてわり活動）において、高学年児童が、下級生のために行動し、リーダーやフォロワーとなって全員が活躍できる場面を設定しましょう。人と関わる楽しさや喜び、人の役に立てた、という気持ちを体験を通して感じられるようにしましょう。

はじめに



放課後の小学生の遊びに目を向けてください。
近所の友達と異年齢集団で遊ぶ姿が見られますか。
同学年の友達と、ゲームや通信などで遊ぶことが多くありませんか。また、習い事やスポーツをしていて、放課後に友達と遊ぶ経験が少ないという子どもたちもいると思います。



放課後は、習い事があるから、友達とは全然遊んでいません。

子どもたちにとって、学校は、人との関わり方を学ぶ場です。そこで、異年齢交流活動（たてわり活動）のねらいや支援のポイントを、このハンドブックにまとめました。

年下の子と一緒に遊んだことがないから、どうしたらいいのかな。



小さい子って、静かに話を聞いてくれないんだもん！困っちゃう。



高学年児童一人一人が活躍する異年齢交流活動にするために…

～異年齢交流活動において、大切なことは…～

高学年児童の自己有用感を育みましょう！



認められて育つ

他者（下級生・同級生・教師・保護者）からの「ほめる・認める・励ます」メッセージで育みます

自己有用感を育むには「仲間や下級生のために行動する」場を設定し、活動の振り返りでは、児童の「頑張ったこと」を認めましょう。

達成感や自信

リーダーシップ

輪番制によるリーダー体験

人と関わる楽しさや喜び

仲間との絆づくり

共同的な活動

思いやり

上級生の役割

下級生のために行動する

児童主体の活動



はじめに

児童主体のたてわり活動リーフレット・・・・・・・・・・・・・ 3

第1章 児童が中心となって考える「異年齢交流活動」

〈委員会活動（児童会本部）〉の流れ

1. 「たてわり活動計画を考えよう」・・・・・・・・・・・・・ 6
2. 「活動計画・振り返りカード」と「たてわりコーナー」・・ 7
3. 「児童用たてわり活動ハンドブックを作成しよう」・・・・ 8
4. 「一年間のたてわり活動を振り返ろう」・・・・・・・・・・ 9

第2章 児童主体の異年齢交流活動の進め方

〈児童主体のたてわり活動〉の流れ

5. 5年事前学習「たてわり遊びオリエンテーション」・・・・ 11
6. 6年事前学習「たてわり遊びオリエンテーション」・・・・ 12
7. 「児童主体のたてわり遊び」・・・・・・・・・・・・・ 13
8. 「児童主体のたてわり清掃」・・・・・・・・・・・・・ 14
9. 「運動会における異年齢交流活動」・・・・・・・・・・・・・ 15
10. 「5年生のリーダー体験‘たてわり長縄’」・・・・・・・・ 16
11. 5、6年事後学習「たてわり活動の振り返り」・・・・・・・ 17
12. 6年生から5年生へ「たてわり活動を引き継ごう」・・・・ 18

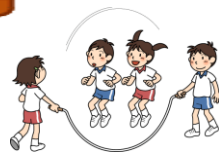
参考資料



児童主体のたてわり活動リーフレット



異年齢交流活動で自己有用感を育む7つの手立て



1. 児童主体の活動が‘仲間との絆づくり’につながります

子どもたちが活動内容を考えたり、創意工夫が生かせたりするような場をつくることで、異年齢交流活動に主体的に取り組めるようにしましょう。

月1回程度の無理のない活動計画を立て、一人一人が役割を持ち、仲間と協力して活動するという共同的な活動が、子ども同士の絆づくりにつながります。教師の「居場所づくり」と児童の「絆づくり」が大切です。



2. ‘輪番制’によるリーダー体験が、子どもたちの協力と自信につながります

人前で話すことが苦手、自分に自信がない、恥ずかしいと感じる子どもたちもいます。しかし、仲間に協力してもらいながらリーダー体験をすることも大切です。

高学年児童全員が、リーダーやフォロワー（リーダーをサポートする）という両方の役割を体験することで、リーダーの責任や大変さが分かり、フォロワーの役割についても学ぶことができます。また、任された役割を成し遂げることで、達成感を感じ、自信を持つことができます。

3. 他者からの「ほめる・認める・励ます」メッセージが、子どもたちのやる気を引き出します

活動ごとに、個人の活動記録カードを作成しましょう。子どもたち一人一人が役割を持ち、めあてを考え活動し、振り返りをします。振り返りでは、めあてに対して活動できたか、感想を書きましょう。ポートフォリオにすると、自己の成長記録にもなります。

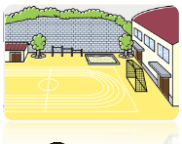
子どもが頑張ったことに対して、他者（下級生・班の仲間・担当教員・保護者）は、肯定的なメッセージをカードに書きましょう。ほめられた、認められたという気持ちが、子どもたちの自信や次回の活動の意欲につながり、自己有用感を育みます。

4. 教師の共通理解が、児童主体の活動を成功させる鍵です

班やグループごとの活動になるときは、活動の流れが同じになるように、班編制の仕方や活動のねらい、活動時間などの枠組みを決めましょう。

教師は、児童の主体的な活動を見守ります。しかし、個別に配慮が必要な児童がいたり、危険が予想されたりする場合は、事前に教職員の打合せを行い、適切な支援や指導について確認しましょう。

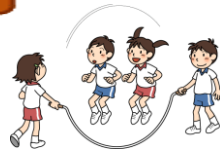




児童主体のたてわり活動リーフレット



異年齢交流活動で自己有用感を育む7つの手立て



5. 準備や振り返りの時間を確保して、無理なく実施しましょう



ポイント！

活動を成功させるためには、リーダー役の児童が、不安を抱えずに取り組めるようにします。一人で抱え込まずに、仲間と相談しながら活動内容を考え、下級生に伝わる説明の仕方や、遊びのリハーサルをするなどの準備が十分にできると良いでしょう。

活動中においても、最後に振り返りの時間を確保しましょう。高学年児童が、下級生の感想を聞き、次回の活動に生かします。総合的な学習の時間や特別活動の時間を利用して、事前学習（準備）や事後学習（振り返り）をしましょう。

6. 下級生のことを考えて活動することが、思いやりの心を育みます



ポイント！

活動の中で高学年児童は、下級生に対して、話し方や接し方を相手に合わせる大切さに気付きます。例えば、遊びのルールを説明したり、わかりやすく伝えたりするときに、相手のことを考えて行動することになります。

高学年と下級生がペアになり、自分が関わる下級生を決めて活動すると、相手への関わり方を意識しながら、よりよい人間関係を築けようになるでしょう。優しくしてもらった下級生は、上級生に憧れを感じます。



7. 学校行事や児童集会、地域に役立つ活動でも実践できます



ポイント！

年間計画を見通して、運動会や委員会などの児童集会、ボランティア清掃、遠足、給食、お年寄りとの交流活動、異校種交流などでも異年齢交流活動の実践ができます。

内容によっては全学年ではなく、低学年のみ、1年生と6年生で実施するなど、学校の実態に応じて、楽しく活動できる異年齢交流活動の工夫をしましょう。

6年生のめあて：協力・責任・思いやり

実践例

年間計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
班編制 一年生を迎える会	オリエンテーション	たてわり遊び	たてわり清掃	たてわり遊び	ハンドブック作成	運動会	たてわり遊び	たてわり清掃	たてわり遊び	たてわり長縄	たてわり清掃
											引継ぎ式 六年生を送る会

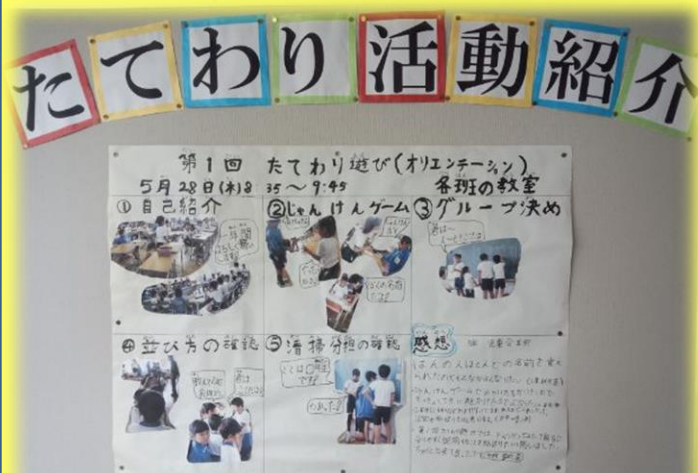
児童会が活動のめめてを
学年の児童に伝える場面



第1章

児童が中心となって考える

「異年齢交流活動」



「たてわりコーナー」
児童会が作成する活動記録
(左)と6年生が班ごとに作
成するたてわりカード(上)

「たてわり活動計画を考えよう」

※学校の規模や実態によって、総合的な学習の時間（または特別活動）に、学年単位で実施してもよい。
また、高学年の代表児童による計画委員会で実施してもよい。

ワンポイント アドバイス



- ・教師は「活動の時間・内容・方法」の基本的な枠組みを定めましょう。
- ・児童が「具体的な活動計画」を立てられるようにしましょう。
- ・活動のめあてや活動内容は児童の考えを尊重しましょう。

児童の活動	教師の支援（○）や発言
1. はじめの言葉  <p>これからたてわり活動について話し合いを始めます。</p> <p>6年司会者</p>	<p>○児童が、たてわり活動について「①活動のめあて②自分の役割③活動内容」を主体的に考えられるように、事前にプリントを作成する。</p> <p>今までの「たてわり遊び」の課題や反省から、自分たちの目指す姿を考えよう。」</p>
2. 学年のめあてを考える  <p>「協力・責任・思いやり」がいいと思います。</p> <p>6年生</p>	<p>6年生は、みんなが楽しく遊べる「遊び」を考えましょう。リーダーとしてどのような姿を目指しますか。</p>
 <p>「協力・親切・思いやり」がいいと思います。</p> <p>5年生</p>	<p>5年生は、「下級生のために行動する」という役割があります。どういう「めあて」が考えられるかな。</p>
3. 5年生は「たてわりコーナーの作成」、6年生は「たてわり遊びの内容」「Good Jobカード」「たてわりENJOYカード」について話し合う。  <p>私は、Good Jobカードを作ります。先生カードの内容は何を書きますか。</p> <p>6年生</p>	<p>○学年で役割を分けて、自分たちで活動計画を考えさせる。 ①「たてわりコーナー」（活動計画書と活動の記録を掲示する） ②「たてわり遊び」（みんなが楽しく遊べる遊びを考える）</p> <p>それぞれの学年で、役割を分けます。学年で話し合って活動内容を決めましょう。</p>
 <p>ぼくは、たてわりENJOYカードを作ります。下級生にもわかりやすいカードにします。</p> <p>6年生</p>	<p>たてわり活動のポイント</p>
 <p>私は、たてわり遊びについて考えます。今までやったことのない遊びを、みんなに教えたいです。</p> <p>6年生</p>	<p>①たてわりコーナーは、情報発信の場となるため、全校児童が見やすい場所に設置する。</p>
 <p>5年生は、廊下にたてわりコーナーを作成します。班ごとに色別にしたり、写真を貼ったりして活動の内容を知らせたいです。</p> <p>5年生</p>	<p>②活動の日程（月1回程度）、遊びの内容（ボールや道具を使う）、遊ぶ場所（外遊び&室内遊び）などは、学校の規模や児童の実態によって工夫する。</p>
4. 振り返りの感想を発表する。  <p>学年のみんなに、今日の話し合いの内容を伝えます！</p> <p>6年生</p>	<p>③班での話し合いや準備、振り返りは、総合的な学習の時間（または特別活動）に行い、そこで使うワークシートや児童用ハンドブックを委員会活動で作成する。</p>
5. 終わりの言葉  <p>これで、たてわり活動の話し合いを終わりにします。学年のめあてを達成できるようにがんばりましょう。</p> <p>6年司会者</p>	<p>④6年生は、輪番制で遊びのリーダー役となり、ペアになった1年生と関わる。</p> <p>⑤5年生は、2～4年生とペアになり、毎回下級生のために行動する。</p> <p>○児童自身が気付いたことや教師の賞賛、アドバイスなどを、今後の自分たちの活動に生かすように伝える。</p> <p>今日の話合いで決まったことを、それぞれ学年の人たちに伝えましょう。</p> <p>自分の考えを伝えるだけでなく、ほかの人の意見も聞きながら話し合うことができ、素晴らしいです。みなさんの様子を見て、感心しました。</p> <p>学年の人たちからもアイデアをもらって「みんなが楽しめるたてわり遊び」にしましょう。</p>

「活動計画・振り返りカード」と「たてわりコーナー」の作成

1

活動計画・振り返りカード（個人・たてわりコーナー掲示用）

活動計画・振り返りカードは、教師と児童会本部が委員会活動で作成します。カードは、活動内容に合わせて作ります。教師は見本となる枠組みと児童に記入させたい内容を考えます。他者評価は肯定的なメッセージを記入し、カードはポートフォリオにします。

6年生が作成

たてわり清掃 Good Jobカード 区・6年生用

赤田 1班 5年組 〇番 名前

6月23日(火) ~ 6月24日(水)

〇清掃場所(6-1)

〇お世話する下級生の名前(2年生のわかちあいことをやせしめる。)

〇自分の役割(清掃 分担)と書く

6-1のろう下1まうき

めあて: 下級生のために行動する

活動の振り返り(感想や反省)

2年生の...さんとい...に6-1のろう下ぞうじ...しました。2年生の...さんからも...いコメントをもらえたのでうれしかった。2年生の...さんからも...いコメントをもらえたのでうれしかった。2年生の...さんからも...いコメントをもらえたのでうれしかった。

2年...さんからのメッセージ

5・6年生たちがつくえ...しよに手をつけて...手つたてられたりしてうれ...しかった。

Good Jobカード (個人の活動記録)

集合場所・お世話
する下級生の名前

自分の掃除分担
(役割)

活動の振り返り
(感想や課題)

班の同級生からの
メッセージ

下級生と保護者か
らのメッセージ

ほめる・認める・励ます
メッセージを記入する

たてわりオリエンテーション 区・6年生用

(たてわり 遊び・たてわり清掃分担計画表)

きき 3班

たてわり清掃場所(2-2の教室)

そうじ分担(3班ごとを書く)

担当する人の名前

リーダーの振り返り(感想や反省)

担当の先生からのメッセージ...

ENJOYカード (コーナー掲示用)

班長・副班長の名前

集合場所
6年係分担(役割)

遊びの内容を書く

清掃場所・清掃分担

リーダーの振り返り&
担当教員からのメッセージ

ほめる・認める・励ます
メッセージを記入する

2

活動計画・活動内容を伝える「たてわりコーナー」

「たてわりコーナー」は、児童会本部が中心となって委員会活動で作成します。役割を分担して、活動ごとに「児童の活動内容を伝える掲示物」も作成します。

コーナーの設置場所は、情報発信の場とするため、全校児童の見やすい廊下や、来校者に活動内容を伝えられる場所がよいでしょう。班ごとに6年生が作成するENJOYカードや、児童会が作成する活動記録を掲示します。

活動記録の掲示



ENJOYカードの掲示



たてわり活動



担当教員からの肯定的なメッセージ
(ENJOYカード)

肯定的な
他者評価

高学年児童の
自己有用感を育む

「児童用たてわり活動ハンドブックを作成しよう」

ワンポイント アドバイス



- ・教師は「ハンドブック作成の時間・内容・方法」の基本的な枠組みを定めましょう。
- ・児童が「具体的な活動計画」を立てられるようにしましょう。
- ・ハンドブックの記述内容は児童の考えを尊重しましょう。

児童の活動

1. はじめの言葉



これから「たてわり活動ハンドブックの作成」について話し合います。

6年司会者

2. ハンドブックの内容を考える。



役割や仕事の内容、困ったときのアドバイスがあるといいと思います。

6年生



下級生への話し方や接し方のポイントが知りたいです。

5年生

3. 学年ごとに、ハンドブックに記入する内容について話し合う。



私は、表紙を書きます。イラストも入れていいですか。

6年生



ぼくは、「下級生への接し方」を担当します。クラスでも呼び掛けて、意見をまとめてみたいです。

6年生



私は、たてわり遊びの内容を書きます。来年5年生が6年生になったときに、参考にしてほしいです。

5年生



5年生は、イラストを学年で募集します。みんなでハンドブックを作りたいです。

5年生

4. 振り返りの感想を発表する。



学年の人たちに、今日の話し合いの内容を伝えます。

5年生

5. 終わりの言葉



これで、たてわり活動ハンドブックの話し合いを終わりにします。みんなで協力してハンドブックを作りましょう。

6年司会者

教師の支援（○）や発言

○児童が、たてわりハンドブックの作成について「①活動のめあて②自分の役割③ハンドブックの内容」を主体的に考えられるように、ワークシートを作成しておく。

今までのたてわり遊びの成果や課題から、「みんなに役立つたてわり活動ハンドブック」を作りましょう。」



5年生も6年生も、「下級生のために行動する」という役割がありますね。下級生への話し方や接し方のポイントがわかると、いいですね。

高学年のみなさんが知りたいことや、自分のうまくいった体験を入れるとよいでしょう。

○学年で内容を分担して、自分たちで活動計画を考えさせる。
①だれが、何を担当するのか。
②いつまでに、どのように作るのか。



それぞれの学年で、書く内容が決まったので、みなさんと相談して、自分の分担を決めましょう。

活動のポイント

- ①児童と話し合いながら、ハンドブックの内容を決める。
- ②児童が記入しやすいように、教師は枠だけ用意する。（記入例を示す）
- ③高学年児童がハンドブックを読んで、参考にできるように具体的に書かせる。
- ④クラスや学年に呼び掛けて、いろいろな意見やイラストを集めて集約してもよい。
- ⑤「児童の思い」を形にする。

○児童自身が気付いたことや教師の賞賛、アドバイスなどを今後の活動に生かすように伝える。

今日の話し合いで決まったことを、それぞれ学年の人たちに伝えましょう。



自分たちの体験が、みんなの役に立つ「ハンドブック」になるといいですね。

学年の人たちからもアイデアをもらい「みんなで作るたてわり活動ハンドブック」にしましょう。より良いものが出来上がると期待しています！

「一年間のたてわり活動を振り返ろう」

※ここで振り返ったことは、次年度の児童会本部に引き継ぐ。また、年度末の児童集会などで、各委員会からの活動報告として発表してもよい。

ワンポイント アドバイス



- ・教師は、児童が一年間活動計画に沿って取り組んだ内容を認め、ほめましょう。
- ・児童が、活動において頑張ったことや、よくできたことを振り返る時間にしましょう。
- ・活動のめあてに対して振り返りをしましょう。より良い活動にするための改善策があれば次年度へ引き継ぎましょう。

児童の活動	教師の支援（○）や発言
1. はじめの言葉  <p>これからたてわり活動の振り返りについて、話し合いをします。</p> <p>6年司会者</p>	<p>○児童が、たてわり活動について「①活動のめあて②自分の役割③活動内容」の振り返りを記入できるように、事前にプリントを作成する。</p> <p>今年度のたてわり活動を振り返り、頑張ったことやよくできたことは何ですか。</p>
2. 学年のめあてに対して、活動を振り返る。  <p>「協力・責任・思いやり」については…。</p> <p>6年生</p>	<p>6年生は、みんなが楽しく遊べる「遊び」を考えましたね。リーダーとして「協力・責任・思いやり」という学年のめあては、達成できましたか。</p>
 <p>「協力・親切・思いやり」については…。</p> <p>5年生</p>	<p>5年生は「下級生のために行動する」という役割がありました。「協力・責任・思いやり」という学年のめあてについて振り返りましょう。</p>
3. たてわり活動における自分の役割について振り返る。  <p>私はGood Jobカードを作りました。活動ごとに内容を変えて作りましたが…。</p> <p>6年生</p>	<p>○学年で役割を分担して活動したことについて振り返る。</p> <p>①「たてわりコーナー」（活動計画と活動の記録を掲示する）</p> <p>②「たてわり遊び」（みんなが楽しく遊べる遊びを考える）</p>
 <p>ぼくは、たてわりENJOYカードを作りました。下級生のために、わかりやすいカードを作りました。</p> <p>6年生</p>	<p>それぞれの学年で、役割を分担しました。学年で話し合い、活動内容について振り返りましょう。</p> <p>振り返りのポイント</p>
 <p>たてわり遊びの内容を考えました。今まででやったことのない遊びを紹介できてよかったです。</p> <p>6年生</p>	<p>①たてわりコーナーは、全校児童が見やすい場所に設置できたか。</p> <p>②活動の日程（月1回程度）、遊びの内容（ボールや道具を使う）、遊ぶ場所（外遊び&室内遊び）などは、不都合がなかったか。</p> <p>③作成したGood JobカードやENJOYカード、児童用ハンドブックは使いやすかったか。</p>
 <p>ぼくは、廊下にたてわりコーナーを作成しました。また、ハンドブックづくりでは、5年生の役割についてまとめましたが…。</p> <p>5年生</p>	<p>④6年生は、遊びのリーダーや1年生と関わることができたか。</p> <p>⑤5年生は、2～4年生とペアになり、下級生のために行動したが、それについてどうだったか。</p>
4. 振り返りの感想を発表する。  <p>来年度は、たてわり活動で、○○ができるとよいと思います。</p> <p>6年生</p>	<p>○児童自身が気付いたこと、教師の賞賛や励ましの言葉などを、今後のたてわり活動に生かすように伝える。</p> <p>今日の話合いの内容を、それぞれ学年の人たちに伝えましょう。</p>
5. 終わりの言葉  <p>これで、たてわり活動の話し合いを終わりにします。学年のめあてについては…。</p> <p>6年司会者</p>	<p>学年の人たちからもアイデアをもらい「みんなが楽しめるたてわり遊びや児童用ハンドブック」ができました。すばらしいものができましたね。</p> <p>来年度も作成した「児童用ハンドブック」を使って、より良いたてわり活動にしましょう。</p>

教師も一緒に、たてわり
遊びに参加します！



第2章

児童主体の異年齢交流活動 の進め方



‘輪番制’による、リー
ダー＆フォロワー体験



教師は、高学年児童の
活動を見守ります！

「たてわり遊びオリエンテーション」

(事前学習：5年総合的な学習の時間)




ねらい：児童会本部からの提案を聞いて、たてわり遊びについて個人のめあてを考えることができる。

児童の活動	指導のポイント
<p>1. 児童会本部から「たてわり活動の課題や改善点」を伝える。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・いつも同じ遊びばかりだった ・下級生が話を聞いてくれなくて困る ・1年生に遊びを合わせると、上級生はつまらない… 	<p>○児童会本部の児童が、学年の児童に思いを伝えられるように場の設定をする。</p> <p>○なるべく見守り、児童が自分たちの言葉で思いを伝えるようにする。</p>  <p>児童主体の活動になるように、見守りましょう。</p>
<p>2. 児童会本部から「学年のめあて」を伝える。</p>  <p>5年生のめあては〇〇です。</p>	<p>○高学年児童の目指す姿について考えさせる。</p>  <p>5年生は、6年生をフォローして下級生の「あこがれ」の存在になろう！</p>
<p>3. 「たてわりコーナー」について、児童会本部で企画・作成することを伝える。</p>  <p>みんなに活動の様子を伝えるコーナーです。</p>	<p>○他の児童からも、アイデアを募る。</p>  <p>自分たちの「活躍」を全校や保護者、地域に「伝える場」になります。</p>
<p>4. 個人で「たてわり遊びのめあて」を考える。</p>  <p>ぼくは、下級生に自分から「やることわかった？」と声をかけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Good Jobカードの作成 (個人の活動記録：めあてを記入する) ※ペアで関わる下級生にどのように「言葉を掛けるか」「接するか」を考えて、行動のめあてを記入する。 	<p>○ Good Jobカードの個人のめあては、「下級生との関わり方」が書かれているかを確認する。(自己有用感を育む取組にする)</p>  <p>自分の役割を自覚させ、やり遂げさせることにより「達成感や満足感」を感じさせましょう。</p> <p>下級生への言葉掛け(セリフ)や具体的な接し方を考えさせましょう。</p> <p>上級生として下級生にできることは？</p>
<p>5. 班ごとに、Good Jobカードの個人のめあてを伝え合い、下級生への接し方のリハールをする。</p>  <p>ぼくのめあては〇〇です。 2年生に「〇〇しようね！」という言い方でわかるかな？</p> <p>私は「一緒に手をつなごう！」と話しかけます。</p>	<p>○児童の活動の様子を見て、コミュニケーションが苦手な児童を支援をする。</p>  <p>言葉掛け(セリフ)や表情、動きなどを考えさせましょう。</p> <p>児童が互いに演じ合い、アドバイスし合う活動を取り入れます。</p> <p>どんな言い方をすれば下級生に分かってもらえるかな。表情はどうする？</p>
<p>6. たてわり遊びの「自分のめあて」を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動への意欲やめあてを意識する。  <p>「下級生にありがとうと言ってもらえるように〇〇します。」</p>	<p>○たてわり活動によって、仲間や下級生、班の担当教員、保護者から「認められる」ように行動することを促す。</p>  <p>たてわり遊びを通して、児童の自己有用感を育みましょう。</p>

「たてわり遊びオリエンテーション」

(事前学習：6年総合的な学習の時間)

ねらい：児童会本部からの提案を聞いて、たてわり遊びについて、みんなが楽しめる遊びを班ごとに企画し、個人のめあてを考えることができる。

児童の活動	指導のポイント
<p>1. 児童会本部から「たてわり活動の課題や改善点」を伝える</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・いつも同じ遊びばかりだった ・下級生が話を聞いてくれなくて困る ・1年生に遊びを合わせると、上級生はつまらない… 	<p>○児童会本部の児童が、他の児童に思いを伝えられるように場の設定をする。</p> <p>○なるべく見守り、児童が自分たちの言葉で思いを伝えるようにする。</p> <p> 児童主体の活動になるように、見守りましょう。</p>
<p>2. 児童会本部から「学年のめあて」を伝える。</p>  <p>6年生のめあては〇〇です。</p>	<p>○高学年児童の目指す姿について考えさせる。</p> <p> 6年生は、リーダーとなり、下級生の「あこがれ」の存在になろう！</p>
<p>3. 「たてわりコーナー」について、児童会本部で企画・作成することを伝える。</p>  <p>みんなに活動の様子を伝えるコーナーです。</p>	<p>○他の児童からも、アイデアを募る。</p> <p> 自分たちの「活躍」を全校や保護者、地域に「伝える場」になります。</p>
<p>4. 児童会本部から、たてわり遊びについて「全員が楽しく遊べる遊び」を紹介する。</p>  <p>外遊びと室内遊びをいくつか紹介します。</p>	<p>○「1年生でもできる遊び、高学年も楽しめる遊び」ということを伝える。</p> <p> 児童会本部の皆さんが、遊びを紹介するので、見てください。</p>
<p>5. 班ごとに「たてわり遊び」の内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たてわりENJOYカードの作成 (班の活動記録：遊びの内容を記入する) ①遊びのリーダー・サブリーダー・記録係を決める。 ②リーダーを中心に「みんなが楽しめる遊び」を考える。 ③記録係がENJOYカードに記録する。 (振り返りの感想は、リーダーが記入する) ④記入後ENJOYカードは、担当の先生に確認してもらい、たてわりコーナーに掲示する。 ⑤遊びのリハーサルをする。 ・Good Jobカードの作成 (個人の活動記録：めあてを記入する) <p>6. Good Jobカードの個人のめあてを伝え合い、1年生との関わり方のリハーサルをする。</p>  <p>ぼくのめあては〇〇です。1年生に「△△しようね！」と言う方でわかるかな？</p>	<p>○それぞれの係の仕事内容を伝え、仲間と協力して、たてわり遊びを成功させることを伝える。</p> <p>※6年生の係分担</p> <p>①リーダー ②サブリーダー ③記録係</p> <p> 自分の役割を自覚させ、やり遂げさせることにより、達成感や満足感を感じさせましょう。</p> <p>下級生への遊びの説明の仕方(セリフ)を考えさせましょう。</p> <p> その説明の仕方、1年生が分かるかな。</p> <p>輪番制で全員が「リーダー・サブリーダー・記録係」を経験することを伝えましょう。</p> <p>全員が順番に、リーダーを体験します。</p>
<p>7. たてわり遊びの「班の遊びの内容」について全員に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動への意欲やめあてを意識する。  <p>○班は、「△△遊び」をします。「下級生に楽しかったと言ってもらえるように◇◇します。」</p>	<p>○Good Jobカードの個人のめあては、「係のめあて」または、「下級生との関わり方」が書かれているかを確認する。(自己有用感を育む取組にする)</p> <p>○たてわり活動によって、仲間や下級生、班の担当教員、保護者から「認められる」ように行動することを促す。</p> <p> たてわり遊びを通して、児童の自己有用感を育みましょう。</p>

「児童主体のたてわり遊び」 (朝行事20分間)

ワンポイント アドバイス



- ・進行役は、高学年児童に任せましょう。
- ・リーダーが困っていたら、フォロワー（リーダー以外の6年生はサポートする）にアドバイスをしましょう。
- ・「自分も〇〇ができた！」&「友達や先生、家の人から認められた！」という気持ちが、高学年児童の自己有用感を育みます！

児童の活動	教師の支援（○）や発言
1. はじめの言葉  <p>これから〇班のたてわり遊びを始めます。</p> <p>6年班長</p>  <p>1年生のお迎え & 班員の整列</p> <p>6年副班長</p>	<p>○高学年児童が、事前学習でGood Jobカードに記入した「活動のめあてと自分の役割」を達成できるように励ます。</p> <p> 今日のために、6年生がたてわり遊びの準備をしてくれました。下級生に楽しんでもらえるように、がんばりましょう。期待しています。</p> <p>5年生は、下級生が楽しめるように、声を掛けてください。よろしくね。</p>
2. 今日の活動を説明する。  <p>今日は〇〇をします。ルールを説明するので聞いてください。</p> <p>6年リーダー</p>  <p>それでは、〇〇をやってみます。見ていてください。</p> <p>6年フォロワー</p>  <p>〇〇くん、遊び方がわかった？できそう？</p> <p>5年生</p>	<p>○リーダー＆フォロワーの説明が、下級生に理解できたかどうかを5年生に確認するように促す。 ※リーダー役は、輪番制で6年生全員が経験する。リーダー以外の6年生は、フォロワーとしてリーダーを支える。</p> <p> 先生にはよくわかったけど、低学年の子どもたちにはどうだったかな。わからない人は、手を挙げてね。</p> <p>5年生は、下級生の隣に移動しましょう。下級生が楽しく遊べそうですか。ルールが分かったかどうかを確認してください。</p>
3. 高学年がリードして、下級生と一緒に遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習で、6年生が班ごとに考えた遊びを実践する。 例）フルーツバスケット（室内） けいどろ（外遊び） 	<p>○全体を見て、必要ならば高学年児童に小声でアドバイスをする。（参加できそうなときは、児童と一緒に遊ぶ。）</p> <p> 2年生の〇〇さんが、困っているのかな。△△さん、声を掛けてみて。</p>
4. 振り返りの感想を発表をする。  <p>今日の遊びは楽しかったですか？みんなの感想を聞かせてください。</p> <p>6年リーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生は1年生のメッセージを聞き、Good Jobカードに記入する。 ・5年生は、ペアで関わった下級生にメッセージを記入してもらう。 ・家の人からもカードにメッセージを記入してもらう。 	<p>○活動終了5分前に「振り返りの時間です」と放送が入ったら、高学年児童と下級生を、互いに話が聞き合える位置に並ばせる。</p> <p>○「準備が大変だったけれど、下級生に喜んでもらえてよかった」という気持ちで活動を終了できるように配慮する。</p> <p> 今日の遊びは、楽しかったですね。高学年のみなさん、ありがとう。下級生もルールを守って楽しく遊べました。</p> <p>※メッセージは、6年生は、総合的な学習の時間に、5年生は、休み時間などに記入。</p>
5. 終わりの言葉  <p>これで〇班のたてわり遊びを終わります。</p> <p>6年班長</p>	<p>○高学年児童の取組を賞賛し、達成感を感じられるようにする。（たてわりENJOYカードに肯定的なメッセージを記入する。）</p> <p> 高学年のみなさん、自分の役割をしっかりと果たしてくれました。下級生への言葉掛けもできましたね。がんばりました！次回もよろしくね！</p> <p>○Good Jobカードは、教室や廊下にポートフォリオとして掲示する。</p>

「児童主体のたてわり清掃」 (清掃の時間)

ワンポイント アドバイス



- ・教師は「清掃場所の分担・担当教員・担当児童・日程」など、基本的な枠組みを定めましょう。
- ・進行役は、高学年児童に任せましょう。
- ・班長が困っていたら、フォロワーにアドバイスをしましょう。
- ・「下級生の役に立てた!」「がんばったことを認めてもらえた!」という気持ちが、高学年児童の自己有用感を育みます!

児童の活動	教師の支援 (○) や発言
1. はじめの言葉  <p>これから○班のたてわり清掃を始めます。</p> <p>6年班長</p>  <p>1年生のお迎え & 班員への指示</p> <p>6年フォロワー</p>	<p>○高学年児童が、事前学習でGood Jobカードに記入した「活動のめあて&自分の役割」を達成できるように励ます。</p> <p>たてわり清掃のために、6年生が掃除分担を決めてくれました。高学年のみなさんは、下級生に掃除の仕方をアドバイスしながら、みんなで協力してきれいにしましょう。</p> <p>5年生も、下級生に声を掛けて協力してね。</p>
2. そうじの手順を説明をする。  <p>そうじの手順を説明するので聞いてください。</p> <p>6年班長</p>  <p>班長の説明に、付け足しをします。</p> <p>6年フォロワー</p>  <p>○○くん、そうじのやり方が分かった? できそう?</p> <p>5年生</p>	<p>○リーダー&フォロワーの説明が、下級生に理解できたかどうかを5年生に確認するように促す。</p> <p>先生にはよくわかったけど、低学年の子どもたちにはどうだったかな。</p> <p>5年生は、下級生に確認しましょう。</p> <p>高学年のみなさん。そうじの途中で、わからないことがあったら先生に聞いてください。そして、下級生にも伝えてくださいね。</p>
3. 高学年児童がリードして、下級生と一緒に、協力して掃除をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習で、6年生が班ごとに考えた分担で実施する。 	<p>○必要ならば高学年児童に小声でアドバイスをする。 (教師も、児童と一緒に掃除をする。)</p> <p>そうじに集中できない人がいるから、○○くん「一緒にそうじしよう」と声を掛けて。</p> <p>上級生は下級生と一緒に机を運びましょう。</p>
4. 振り返りの感想を発表をする。  <p>みんなで協力したので、早く終わりました。そうじの感想や反省を聞かせてください。</p> <p>6年班長</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生は1年生のメッセージを聞き、Good Jobカードに記入する。 ・5年生は、ペアで関わった下級生にメッセージを記入してもらう。 ・家の人にもメッセージを記入してもらう。 	<p>○高学年児童と下級生を、互いに話が聞き合える位置に並ばせる。</p> <p>○高学年児童が、「下級生に教えることが大変だったけれど、下級生の役に立ててよかった」「自分が、班の役に立つことができた」という気持ちで活動を終了できるように配慮する。</p> <p>今日のたてわり清掃は早く終わりましたね。高学年のみなさん、ありがとう。下級生も協力してそうじができました。きれいになりました。</p> <p>※メッセージは、6年生は、総合的な学習の時間に、5年生は、休み時間などに記入。</p>
5. 終わりの言葉  <p>これで○班のたてわり清掃を終わりにします。ご苦労様でした。</p> <p>6年班長</p>	<p>○高学年児童の取組を賞賛し、達成感を感じられるようにする。 (たてわりENJOYカードに肯定的なメッセージを記入する。)</p> <p>高学年のみなさん、自分の役割をしっかりと果たしてくれました。下級生にも進んで声を掛けてくれました。次回もよろしくね!</p> <p>○Good Jobカードは、教室や廊下にポートフォリオとして掲示する。</p>

「運動会における異年齢交流活動」

(練習から運動会当日まで)

※各学年での事前学習において、個人のめあてを考え、Good Jobカードに記入する。事後学習では、めあてに対して振り返り、他者からの肯定的なメッセージを記入する。

ワンポイント
アドバイス

- ・運動会でも、ペアで関わる下級生のために活動をしましょう。
- ・高学年児童が、それぞれに自分が取り組める活動内容を考えましょう。
- ・「自分も〇〇ができた!」「友達や下級生、先生、家の人から認められた!」という気持ちが、高学年児童の自己有用感を育みます!

児童の活動	教師の支援 (○) や発言
1. 運動会における異年齢交流活動活動のめあてを知る。 運動会でも、上級生として活躍しよう  下級生のために、私は何ができるかな。	○高学年児童が、運動会において下級生のために活動することを伝える。  たてわり活動で、下級生のために活動していますが、運動会でも下級生のために、自分は何ができるかを考えて活動しましょう。 5、6年生は、下級生をリードするように、様々な場面で声を掛けてください。よろしくね。
2. 活動内容を考え、Good Jobカードに個人のめあてを記入する。  ぼくは、「表現」で、5年生にわかりやすく教えます。  私は、「応援合戦」で、1年生が内容を覚えられるように教えます。  ぼくは、「児童係」で、2～4年生と一緒に競技の応援をします。  全校で踊る「八木節」では、班の下級生に自分から声を掛けて教えます。 ・自分が取り組める活動を考える。(活動は複数でもよい)	○子どもたちに、運動会において、下級生のためにどんな活動が考えられるかを尋ね、児童の意見を集約する。  運動会の練習や当日に、自分は下級生のためにどのような関わりができますか。 係の仕事や団全体のことを考えて、自分が取り組める活動について、めあてを書きましょう。
3. 自分で考えた活動に取り組む。  ・6年生は下級生のメッセージを聞き、Good Jobカードに記入する。 ・5年生は、ペアで関わった下級生にメッセージを記入してもらう。 ・家の人にもメッセージを記入してもらう。	○児童が、Good Jobカードに個人のめあてを記入する様子を見て、個に応じたアドバイスをする。  運動会の係の仕事から、自分ができていることを考えてみよう。 例えば、練習や本番で整列するとき、下級生にどんな言葉を掛けたいかな。
4. 実践後の振り返りにおいて、めあてに対しての感想をカードに記入し、発表する。  1年生の〇〇さんから「教えてくれてありがとう。」と言ってもらえて、うれしかったです。  ぼくは、3年生の〇〇くんから「一緒に応援したことが楽しかった。」と書いてもらいました。自分から声を掛けてよかったです。	○児童の活動の様子を見て、活動後は、めあてを意識して行動することができたかについて振り返らせる。  今日の練習では、下級生のためにめあてを意識して活動できましたか。 下級生への伝え方はどうだった? 下級生にわかりやすい言葉で言えたかな。
	○大変だったけど、下級生の役に立ててよかったという気持ちで活動を終了することができるようにする。 ※下級生からのメッセージは、6年生は、総合的な学習の時間に記入する。5年生は、休み時間などに記入してもらう。 ○児童の取組を賞賛し、達成感を感じられるようにする。  みなさん、自分の役割をしっかりと果たしてくれましたね。下級生にとって、頼りになるお兄さん、お姉さんになれたと思います。下級生のために次のたてわり活動も頑張りましょう。
	○児童のGood Jobカードは、ポートフォリオとして教室や廊下に掲示する。

「5年生のリーダー体験『たてわり長縄』」

(朝行事20分間 3学期に実施)

※事前学習において、個人のめあてを考え、Good Jobカードに記入する。事後学習では、めあてに対して活動を振り返り、班ごとに集まって互いに肯定的なメッセージを記入し合う。

ワンポイント アドバイス







- ・長縄でも、ペアで関わる下級生のために活動をしましょう。
- ・「下級生のためにできること」をめあてとして考えましょう。
- ・「できた!」「認められた!」という気持ちが、高学年児童の自己有用感を育みます!

児童の活動	教師の支援 (○) や発言
1. たてわり長縄における活動のめあてを知る。(事前学習) 5年生のリーダー体験『たてわり長縄』をしよう	○5年生が、たてわり長縄において、下級生のためにリーダー体験をすることを伝える。(6年生は、フォロワーになる)
 5年生 「6年生のようにリーダーとして、私は下級生のために何ができるかな。」	 たてわり長縄で、自分は「下級生のために」何ができるかを考えて活動しましょう。
2. Good Jobカードに、たてわり長縄における個人のめあてを記入する。(事前学習)	○たてわり長縄において、下級生のためにどのような活動が考えられるかを尋ね、児童の意見を集約する。
 6年生 「ぼくは、5年生が困っていたら、『〇〇しよう』とアドバイスをします。」	 たてわり長縄では、下級生に対してどのような関わりができますか。
 6年生 「私は、1年生が上手に跳べるように、コツを教えます。」	 高学年の役割や班全体のことを考えて、自分が取り組める活動について、カードにめあてを書きましょう。
 5年生 「ぼくは、6年生のようにリーダー役で、班をまとめます。」	○児童が、Good Jobカードに個人のめあてを記入する様子を見て、個に応じたアドバイスをします。
 5年生 「私は、下級生が跳びやすいように、長縄を回す役をやります。」	 今までの6年生の活躍を見て、5年生は、今後リーダーとしてどのように行動しますか。
・自分が取り組める活動を考える。(活動は複数でもよい) 3. 自分で考えた活動に取り組む。(たてわり長縄の実践)	 例えば、長縄を跳べない下級生がいるときに、どんな言葉を掛けたいかな。
・6年生は下級生のメッセージを聞き、Good Jobカードに記入する。 ・5年生は、ペアで関わった下級生にメッセージを記入してもらう。	○児童の活動の様子を見て、活動後は、めあてを意識して行動できたかについて振り返らせる。
・家の人にもメッセージを記入してもらう。	 今日のだてわり長縄では、下級生のために行動できましたか。
4. 実践後の振り返りにおいて、めあてに対しての感想をカードに記入し、発表する。(事後学習)	 下級生への接し方はどうだったかな? 下級生にわかりやすい言葉で言えたかな。
 6年生 「1年生の〇〇さんから、『跳べたよ! ありがとう。』と言ってもらえて、うれしかったです。」	○大変だったけれど、下級生の役に立ててよかったという気持ちで活動を終了できるようにする。 ※下級生からのメッセージは、6年生は、総合的な学習の時間に記入する。5年生は、休み時間などに記入してもらう。
 5年生 「ぼくは、2年生の〇〇くんから、『長縄が楽しかった。』と書いてもらいました。自分から声を掛けてよかったです。」	○児童の取組を賞賛し、達成感を感じられるようにする。(ENJOYカードに肯定的なメッセージを記入する。)
	 5年生は、リーダー体験をしてどんな感想を持ちましたか。6年生の役割が分かりましたか。
	 みなさん、自分の役割をしっかりと果たしてくれましたね。下級生にとって、頼りになるお兄さん、お姉さんになれたと思います。下級生のために次回のたてわり活動も頑張りましょう。
	○Good Jobカードは、教室や廊下にポートフォリオとして掲示する。

「たてわり活動の振り返り」

(事後学習：5、6年総合的な学習の時間)

ねらい：たてわり遊びについて、めあてに対して振り返り、互いのよさを認め合うことができる。

児童の活動	指導のポイント
<p>1. 本時の活動のねらいを確かめる。</p> <p>めあて たてわり遊びについて、めあてに対して振り返り、互いのよさを認め合おう。</p>	<p>○活動前に児童がめあてを記入した、Good Jobカードを配布する。教師は事前に内容を把握し、本時でグループ活動を行う際の支援のポイントを明確にしておく。</p>
<p>2. Good Jobカードに活動を振り返り、感想を記入する。</p> <p> 私のめあては、〇〇だったから…。下級生から「楽しかった」と言ってもらえたので…。</p>	<p>○活動を振り返り、めあてに対してできたことを中心にワークシートに記入させ、次の活動で努力することがあれば、付け足すように伝える。</p> <p> めあてに対して活動を振り返り、できたことを書きましょう。次回、がんばりたいことがあれば、付け足しましょう。</p>
<p>3. 班ごとに、互いのカードを読み合って、「ほめる・認める・励ますメッセージ」を記入し合う。</p> <p> △△さんは、「2年生から、楽しかったと言ってもらってうれしかった。」と書いてあるから…。</p> <p>励ますメッセージにしたいけど、どんな言葉を書けばいいのかな。</p> <p>〇〇さんは、進んで下級生に話し掛けていた。ほくも真似しようと思った。</p>	<p>○カードに書かれている感想や、下級生からのメッセージの内容を読んで、「班のメンバーからのメッセージ」の部分を書くように伝える。</p> <p> カードに書いてある「感想の部分」を読みましょう。それに対して、「ほめる・認める・励ますメッセージ」を書きましょう。</p> <p> 自分が見つけた「友達のよいところやがんばっていたこと」を書いてもいいです。メッセージの最後には、必ず自分の名前を書きましょう。</p>
<p>4. 自分のカードに友達からメッセージを書いてもらい、気付いたことや感想を全体で発表し合う。</p> <p> 「〇〇してくれてありがとう。」と書いてもらいました。うれしかったです。</p> <p> 下級生や友達に、自分の行動が認められてうれしいです。次回の活動も、がんばろうと思いました。</p>	<p>○「友達から見て、自分がどのように下級生や仲間と関わっていたか」について、友達からの「ほめる・認める・励ますメッセージ」を一人ずつ発表させる。</p> <p> どんなメッセージを書いてもらいましたか。発表しましょう。</p> <p> 友達からのメッセージを読んで、どう思いましたか。</p>
<p>5. 本時の学習を振り返る。</p> <p>・「感じたことや考えたこと」「これからがんばりたいこと」を発表し、次の活動への意欲やめあてを持つ。</p> <p> 「次回のたてわり活動でも、下級生に楽しかったと言ってもらえるように〇〇します。」</p> <p> 「私は、次回はリーダー役をするので、1年生に分かりやすく説明します。」</p>	<p>○自己の成長や変容を自覚できるように、カードはポートフォリオとして蓄積し、教室や廊下に掲示して内容を共有できるようにする。</p> <p>○Good Jobカードを家庭に持ち帰り、「おうちの方からのメッセージ」を記入してもらう。 ※事前に家庭には、おたよりで協力を依頼する。</p> <p> たてわり遊びの様子を家の人に伝え、たくさんの人から認められることで、児童の自己有用感を育みましょう。</p>

6年生から5年生へ「たてわり活動を引き継ごう」 (朝行事20分間)

ワンポイント アドバイス



- ・進行役は、高学年児童に任せましょう。
- ・今までの6年生の活躍や頑張りを認め、自己有用感を育みましょう。
- ・5年生への励ましのメッセージが、活動への意欲につながります。
- ・下級生には、上級生への憧れと感謝の気持ちを持たせましょう。

児童の活動	教師の支援 (○) や発言
1. はじめの言葉 これから○班の引継ぎ式を始めます。 6年生 1年生のお迎え & 班員の整列 6年副班長	○高学年児童が、事前学習でGood Jobカードに記入した「活動のめあてと自分の役割」を達成できるように励ます。 一年間、6年生が中心となり、たてわり活動を進めてくれました。いろいろな場面で下級生のために、頑張ってくれました。 5年生も、下級生のために行動してくれましたね。今日が○班最後の活動になります。
2. 6年生のあいさつ 一年間、ぼくは班長として○○しました。全員が楽しく遊べるように…。 6年生 私は、副班長として○○しました。下級生のお迎えでは…。 6年生 ぼくは、初めてリーダーを経験しました。みんなにわかりやすく説明しよう…。 6年生	○今日は、6年生から5年生への引継ぎ式です。最後のたてわり活動なので、全員で6年生へ感謝の気持ちを伝えましょう。 ○下級生が6年生のあいさつをしっかりと聞くように、5年生に対して、下級生への言葉掛けを促す。 5年生は、下級生の隣に移動しましょう。下級生が6年生のあいさつをしっかりと聞くことができるように声を掛けましょう。 お世話になった6年生に、大きな拍手をしましょう。
3. 6年生から5年生へ「たてわりファイル」の引継ぎを行う。 このたてわりファイルには、一年間の活動記録が入っています。5年生のみなさん、参考にしてください。 6年生 6年生のみなさん、一年間ありがとうございました。6年生は、かっこよかったです。 5年生	○たてわりファイルの引継ぎでは、6年生と5年生で一言メッセージを伝え合い、下級生からも一人ずつお礼を伝えるようにする。 5年生と6年生で、互いに一言ずつ話をしてからファイルを引継ぎましょう。6年生からどうぞ。 下級生のみなさんは、しっかり話を聞きましょう。最後に、6年生や5年生にお世話になったお礼を言いましょう。
4. 振り返りの感想を発表をする。 6年生のお兄さん、お姉さん、たてわり遊び楽しかったです。ありがとうございます。 下級生	○活動終了5分前に「振り返りの時間です」と放送が入ったら、高学年児童と下級生を、互いに話が聞き合える位置に並ばせる。 ○「大変なこともあったけれど、下級生に喜んでもらえてよかった」という気持ちで活動を終了できるように配慮する。 ※メッセージは、6年生は、総合的な学習の時間に5年生は、休み時間などに記入。 ○高学年児童の取組を賞賛し、達成感を感じられるようにする。(ENJOYカードに肯定的なメッセージを記入する。) 高学年のみなさん、自分の役割をしっかりと果たしてくれました。下級生のために行動することもできました。すばらしかったです。 6年生に感謝状を渡します。一年間ありがとう。
5. 終わりの言葉 これで○班のたてわり活動を終わります。一年間楽しかったです。 6年生 5年生は来年リーダーとしてがんばってください。	○Good Jobカードは、教室や廊下にポートフォリオとして掲示する。

たてわり活動の様子



児童会本部の話合い（企画・運営・学年のめあて決め）



6年生の班ごとの話合い（たてわり遊びを決める）



例) 震源地ゲーム

たてわり遊び（室内）

交互に

計画する



例) サバイバルドッジボール

たてわり遊び（校庭）
※2班合同で実施してもよい



たてわり清掃（班ごとに分担場所を掃除する）



活動の振り返り（Good Jobカードに下級生からのメッセージを記入する）

児童主体の異年齢交流活動で育まれる力は？

たてわり遊び、たてわり清掃、学校行事など、年間を通して計画的に、継続的に実施した異年齢交流活動では、高学年児童は「輪番制によるリーダー体験」や「下級生のために行動すること」を通して、リーダーシップや思いやり、人と関わる楽しさや喜び、自信や意欲などを育むことができます。

6年生全員がリーダーを体験し、5年生にも下級生のために行動するという役割を任せて、異年齢の児童と関わり合う「楽しさや喜びを感じられる活動」を工夫することや「他者からの肯定的な評価」によって自己有用感を育むことが大切です。

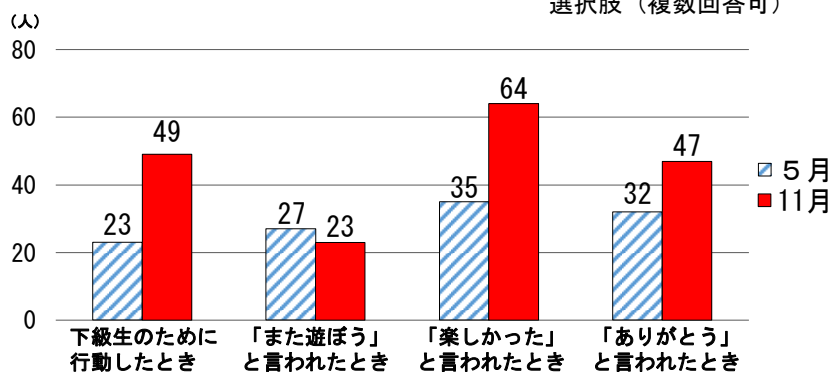


運動会での異年齢交流活動
(応援合戦の練習場面：6年生
が考え、下級生に教える様子)

高学年児童148名のアンケート調査結果

「どういうときに、下級生の役に立っていると思いますか」

選択肢（複数回答可）



異年齢交流活動チェックリスト ～よりより活動に向けて～

- ☐ 異年齢交流活動のねらいについて、全教職員の共通理解が図られていますか。
- ☐ 輪番制によるリーダー体験や、一人一人が活躍する場を設定していますか。
- ☐ 活動の準備や振り返りの時間を十分取っていますか。
- ☐ 同学年や下級生との協力や思いやりの心を育む活動になっていますか。
- ☐ 他者からの「ほめる・認める・励ます」メッセージを受け取る工夫をしていますか。
- ☐ 児童の活躍を保護者や地域に発信していますか。



事前・事後学習



話し合い活動の充実
めあてと振り返り

活動



下級生と協力する
「たてわり清掃」



下級生との活動
「たてわり遊び」

振り返り



活動中の振り返り
次回の活動への意欲

教師はなるべく児童の活動を見守ります。そのためには、児童主体の異年齢交流活動になるように、事前・事後学習での高学年児童の準備や、個人のめあてに対する振り返りに、十分な時間を確保しましょう。

あとがき

～高学年児童の「自己有用感を育む」学校づくり

児童主体の異年齢交流活動(たてわり活動)を通して～

高学年児童一人一人が役割を持ち、仲間や下級生と関わり、他者から認められることで「人の役に立っている」「役割を成し遂げた」という思いを感じることが、自己有用感を育むことにつながります。

まずは、児童主体の活動にするために、教師の共通理解を図ります。教師は、異年齢交流活動のねらいや活動の流れ、児童への言葉掛けや支援の仕方について共通理解し、教師主導の活動にならないように、児童主体の活動にすることが大切です。

そこで「教師用たてわり活動ハンドブック」を作成しました。このハンドブックは‘自己有用感を育むには…’ ‘児童主体の異年齢交流にするには…’という教師の課題における共通理解を図る手段となり、児童主体の多様な活動を導くものです。

また「輪番制によるリーダー体験」や「下級生のために行動する」という高学年児童一人一人が活躍する場を設定することで、子どもたちは上級生としてリーダーシップを発揮し、協力による‘絆づくり’や思いやりの心、自分たちの課題を自分たちで解決する力が育ちます。

異年齢交流活動の取り組み方は、それぞれの学校の規模や児童の実態が異なるため、様々な活動が考えられます。そのため、学校の課題や児童の実態から、ねらいを考え、活動内容を工夫します。そこで、このハンドブックの参考にできる部分を活用していただけると良いと思います。

最後に、高学年児童の自己有用感を育む異年齢交流活動によって、高学年児童が育ち、よいモデルとなって下級生も育つような学校づくりにつながることを期待したいです。



主な参考文献

- ・文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
「特別活動 指導資料 楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編」(2015)
- ・文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導リーフ「自尊感情」?それとも、「自己有用感」?
Leaf. 18 生徒指導・進路指導研究センター (2015)
- ・文部科学省 国立教育政策研究所 子どもの社会性が育つ「異年齢の交流活動」
―活動実施の考え方から教師用活動案まで― 国立教育政策研究所生徒指導研究センター(2011)
- ・滝 充 編著 『ピア・サポートではじめる学校づくり「予防教育的な生徒指導プログラム」の
導入と実践』 金子書房(2002)



自己有用感を育む異年齢交流活動の充実
が、いじめの未然防止につながります！

たてわり

ハンドブック



はじめに



高学年のみなさん、下級生をリードして、みんなが楽しめるたてわり活動にしましょう！

下級生に喜んでもらえる、楽しいと言ってもらえる活動ができるといいですね！



下級生との関わりでは、思いやりが大切です！

やさしさ

下級生への話し方・接し方のポイントは、何でしょう。

困ったときには、このハンドブックを読んで、参考にしてください。
仲間と協力して、上級生のリーダーシップを発揮しましょう！

ぼくに、リーダーができるかなあ。みんな、助けてね。

不安



おしゃべりしないで、話を聞いて！説明しているのに…。

イライラ



一人一人が活躍する たてわり活動にするために・・・

～上級生として、大切なことは・・・～

1. 自分の役割を考えて、行動しよう
2. 班のメンバーと協力しよう！助け合おう！
3. 下級生のために、できることを考えよう
4. たよりになる、カッコいい上級生になろう



下級生の「あこがれ」の存在になろう！
上級生が、お手本です！

たてわり活動ハンドブック もくじ

1. 5年生の役割は？	3
2. 6年生の役割と心構え	4
3. 6年生の係の仕事	5
4. 班のメンバーと話し合うときのポイント	6
5. いろいろな遊びを考えよう	7
6. 下級生への話し方のポイント	8
7. 下級生への接し方のポイント	9
8. こんな時、どうする？	
①下級生が遊びの内容が分からないとき	10
②つまらなそうにしている	11
③けんかが始まったとき	13
④おしゃべりしていて、話を聞いてくれないとき	14
⑤「ありがとう」「楽しかった」と言われたとき	15
参考資料	16



たてわり活動で、大切なことは何だろう？

1. 5年生の役割は？

- ① 下級生のお世話をします。
- ② 分からないことがあったら教えてあげます。
- ③ ふざけている人がいたら、注意をします。
- ④ 自分にできることを考えて行動します。
- ⑤ 6年生の話を聞き行動します。

2. 6年生として!!

1. 話し方は大きな声ではっきりと、伝えたい事は、簡単に1年生でも分かる言葉で!

2. 役割りは、リーダーシップをとって、自分が遊びのリーダー、班長、副班長でなくても、みんなの先頭に立ってまとめる!

3. たのまれた仕事は、あきらめないうで最後まで責任をもってやる!

4. 班の人と力を合わせてやる!

3、6年生の係の仕事

① 遊幸ひのリーダー

遊幸ひのリーダーは遊幸ひの中心です。一つめは一年生から五年生までに、遊幸ひをしっかりと教えることです。

② 副リーダー

副リーダーはリーダーのサポートをすることがポイントです。リーダーがこまっていた時などにしっかりと助けてあげましょう。

③ 記録係

記録係は今日やった遊幸ひ、反省点、よかった所などをしっかりと記録しましょう。

4. 班のメンバーと話し合うときのポイント

- ① 大きな声で話す。
- ② 語尾が小さくならないようにする。
- ③ 目を見て話す。
- ④ 笑顔で話す。
- ⑤ どんな意見にもうなずきながら聞き、よく分からない意見があったら質問する。



5. いろいろな遊びを考えよう

○ 下級生でも楽しめる、自分たちも楽しめる遊びを考えよう!

- ・下級生が楽しめるかどうか、リハーサルをします。
- ・説明の仕方が分かりやすいかどうか話し合います。
- ・みんなが楽しめるルールにします。
- ・人数や場所がふさわしいかどうか考えます。
- ・簡単な準備でできて盛り上がる遊びにします。
- ・下級生から遊んだ感想や次回の遊びのリクエストを聞きます。

○ たてわり遊びのメニュー

- ① ドッチボール (上級生は下級生に投げる時手加減をする。)
- ② けいどろ (チーム分けの時に両チームの力の差をつくらないように注意する。)

6 下級生への話しかたのポイント

- ・やさしく話します。
- ・ゆっくりていねいに話します。
- ・はっきりとした声で話します。
- ・あいての目を見て話します。

7. 下級生への接し方のポイントは？

・やさしく まちがえていても
おこらずに、正しい事を教えて
あげます。



・もし、場所や意味などが
あまり分らなから、自分から
連れて行ったり教えてあげたりし
ます。



8. 下級生が話の内容が分からないとき

- ① 実演する(実際にやってみせる.)
実演しながら言葉でも説明する。
- ② 説明したら「わかった?」や、「質問ある人はいますか?」等と聞く。
- ③ 例を挙げて「例えば…」と説明する。
- ④ 班長の別の人に説明してもらう。



8. こんな時、どうする？

② つまらなそうにしているとき

① その子のところへ行って、話しかける。

- ・話しかたは、楽しそうに話す。
- ・表情をよくみよう！聞いても答えないときは、無理やりにさそわない。

② たくさんあててあげる。

- ・「ブタのしっぽ」や、「フルーツバスケット」などをやっているときは、その子をあててあげよう！

③ 大きな声で話す。

- ・大きな声ではきはきと話そう。そうすると、だんだん周りが盛り上がってくる。

④ 「どうしたの？」と声をかける。

- ・その子は、こまっいて、なにをすればいいのかがわからなくなっているかもしれないから、きちんと声をかけて、相談にのってあげる。話を聞いてあげる。

⑤ 友達に相談する。

- ・1人で考えずに、友達に相談してみよう！！

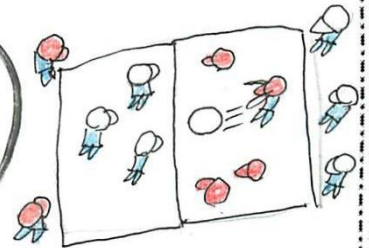
どうしても、つまらなそうにしている場合

- ・先生を無理やりさそいこんで、一緒に、ゲームをやる。そうすると、自然と盛り上がってくる。
- ・どうしても、みんなで盛り上がれない場合は、遊んでいる遊びをかえる。「ぶたのしっぽ」や、「しんげん地」をやる。みんなで盛り上がりやすい。

できるだけ積極的に、
声をかけてあげよう。
みんなで楽しく遊ぼうネ!!



声をかけてもらえると
みんな仲良く遊び
たいな。



⑧③ けんかが始まったとき

・すぐに6年がかけつは、けんかを止める。それでも止まらない場合は、いったん落ちつかせ、話を聞き、せっとくする。

・パンチ、キックなどの暴力がはじまる前に止める。

・いやな言葉を言われても、めげずにがんばって止める。あと自分たちがいやな言葉は絶対言わず、言われても絶対に言いかえさない。

8④ 話をしていて聞いてくれない時

- ① 下級生が、泣かないように、
かるく注意する。
- ② 近くに行き、まわりの人
が話が聞こえなくてめいわくだから
やめて。それでも話をしたいならもう下
に行き自由に話をしてと、言う。
- ③ 話をしたら席をはなす。
- ④ 言葉で言わず、目でしかる。

8. こんな時、どうする？

⑤ 「ありがとう」「楽しかった」と言われたとき

◎お礼を言おう！笑顔で伝えよう！

- ・自分もうれしいことを伝える。
- ・「また一緒に〇〇しようね。」と話す。
- ・「ありがとう」と あく手（ハイタッチ）する。
- ・「〇〇君、～が上手だったね。」とほめる。





手をつなぐと安心するね！



下級生の名前を覚えよう！



リーダーをサポート・協力しよう！



班のみんなで楽しく遊ぼう！



活動の振り返りをしよう！



たてわり清掃は下級生と協力しよう！





編集委員：平成27年度 児童会本部一同